

岩手特化型クラウドファンディング「いしわり」がリニューアル 県内専門学生がデザイン 岩手の夏名所をPR

～WEBページも夏本番 県内専門学生が岩手の夏をPR～

特定非営利活動法人wiz(所在地:岩手県大船渡市 代表理事:中野圭 以下「wiz」)が運営する、岩手に特化したクラウドファンディング「いしわり」のトップページが、7月1日から夏の装いになる。

クラウドファンディングとは、まずWEB上でアイデアを発表し、それに共感した人が少しずつ資金を出し合っってそのアイデアを実現させるという仕組み。いしわりは購入型クラウドファンディングで、協力した額に応じて様々なお返し(リターン)を受け取ることができる。「いしわり」では、岩手を盛り上げるアイデアを掲載できる。

この「夏版」は岩手の夏をテーマに、wizが県内の専門学生にデザインを依頼。宮古の浄土ヶ浜を背景に、大槌の虎舞、盛岡のさんさ太鼓や久慈のあまちゃん、遠野のカッパなどをあしらい、夏に行きたい岩手の名所を紹介するデザインとなっている。「夏版」は7月1日から9月30日までいしわりのトップページとして使用する予定だ。

「岩手に行きたくなる夏」デザインは盛岡情報ビジネス専門学校の澤口沙希さん(20歳)

夏版のデザインを手がけたのは、盛岡情報ビジネス専門学校総合デザインコースの澤口沙希さん(20歳)。クラウドファンディングいしわりリリース時の春版から引き続き、デザインを担当した。

デザインを担当した澤口さんは、「今回は『夏』をテーマに、浄土ヶ浜に海女ちゃんやカッパ、虎舞も登場してもらい、さんさ踊りには欠かせないさんさ太鼓を入れ、「つつい岩手に行きたくなる夏」を、画面いっぱいに表示しました。滝沢産の美味しいスイカの種をよーくみてください」と見どころを語った。



いしわりのトップページ夏版の公開は、**7月1日から9月30日**までの予定。

▼サイトURL

<http://ishiwari.iwate.jp/>

現在、2件が協力募集中。岩手大学生がさんさを盛り上げる「南部風鈴ロード」も協力募集中

現在募集中の案件は2件。一つは、本県が誇る馬文化であるチャグチャグ馬コや馬搬(ばはん:馬で山から木を運ぶ林業)がフランスに招待され、この夏フランスの馬祭りでも披露するための伝統装束輸送費等100万円を募る「馬ッコinフランス!」プロジェクト(募集期間:7月10日まで)。もう一つは、岩手大学のまちづくりサークルNPCNが主体となって取り組む「風鈴ロード」プロジェクト(募集期間:7月16日まで)。風鈴ロードプロジェクトは、盛岡さんさ踊りの開催時期に合わせて、マリオスサマーフェスティバルと協力し、盛岡駅西口から岩手公園付近まで約1.5kmの「南部風鈴の道」をつくらうというプロジェクト。盛岡の特産品である南部鉄器の風鈴を400個使用し、観光客に伝統産業の良さをPRしたい。



遠野で馬搬に取り組む馬ッコinフランス実行委員会代表の岩間敬さん



風鈴ロードの実現に向けていしわりにチャレンジ中のNPCNのメンバー

NPO法人wizとは

wizは「若手のネットワークで岩手を盛り上げる」をビジョンに掲げ、岩手県に関わる若者のネットワーク構築のための勉強会・交流会の運営を行っており、14年5月からのべ400名以上が参加しています。今回の岩手に特化したクラウドファンディング「いしわり」の運営に加え、IWATE実践型インターンシップのコーディネートを行っており、今後はU・ターン促進に向けた情報発信などの事業を展開予定です。

お問合せ先

NPO法人 wiz(ウィズ) 担当:佐々木 TEL:080-5577-1092
E-Mail: info@npowiz.org HP: http://npowiz.org/